

2024

省エネ・環境活動報告

学校法人梅村学園省エネルギー委員会



梅村学園の 省エネ・環境活動方針

■ 梅村学園の環境活動によせて

学校法人梅村学園は、かけがえのない地球環境を守り、次世代に引き継いでいくことが教育機関としての社会的責務であると認識し、省資源化・省エネルギー化を推進するとともに、持続可能な社会の実現に向け、一層の貢献を進めてまいります。

本学園の建学の精神は「学術とスポーツの真剣味の殿堂たれ」であり、スポーツマンシップの要諦として掲げる四大綱には「ルールを守る」「ベストを尽くす」「チームワークをつくる」「相手に敬意を持つ」とうたっています。地球環境の保全はルールを守ることにほかならず、そのためには地球上のすべての人々が協力し合い、最善を尽くしていく必要があると考えます。

さて、本学園の2024年度のエネルギー使用量は前年比5.9%減で、基準年とする2010年からの削減率は35%となりました。猛暑日が増える中で一定の実績を上げることができたのは、照明のLED化や高効率空調機への更新といった省エネ施策の効果によるものですが、ここで気を緩めることなく、さらに取り組みの充実・強化を図ってキャンパスのサスティナブル化を目指していかねばなりません。

2024年度版の『省エネ・環境活動報告』では、省エネ・環境活動の体制や実績に加え、中京大学のゼミにおけるさまざまな環境改善活動や、各種の啓発イベント等についてもご紹介させていただいております。ぜひご一読いただき、本学園の環境に関する取り組みにご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



学校法人梅村学園理事長

梅村 清英

基本理念

本学園は、かけがえのない地球環境を守り、自然豊かな環境を次世代に引き継ぐことが
現代社会の基本的な責務であると認識します。

本学園で生活する者すべてが、諸活動を通して、環境負荷の低減に取り組み、
「持続可能な社会」の構築に対し、教育機関としての責務を果たします。

基本方針

省資源・省エネルギーの推進および、廃棄物の減量と適正管理等に努め、環境負荷低減に取り組む。

1

法規制・協定の遵守

本学園に生活する者は、法規・協定を遵守し、それぞれの立場で自発的・積極的に行う環境保全活動を奨励し、継続的、且つ向上的活動を行えるよう支援する。

2

環境負荷低減

教育・研究をはじめ、すべての活動において、省エネ法、温対法等の環境関係法令、規制、協定を遵守し環境負荷の低減、保全に努める。

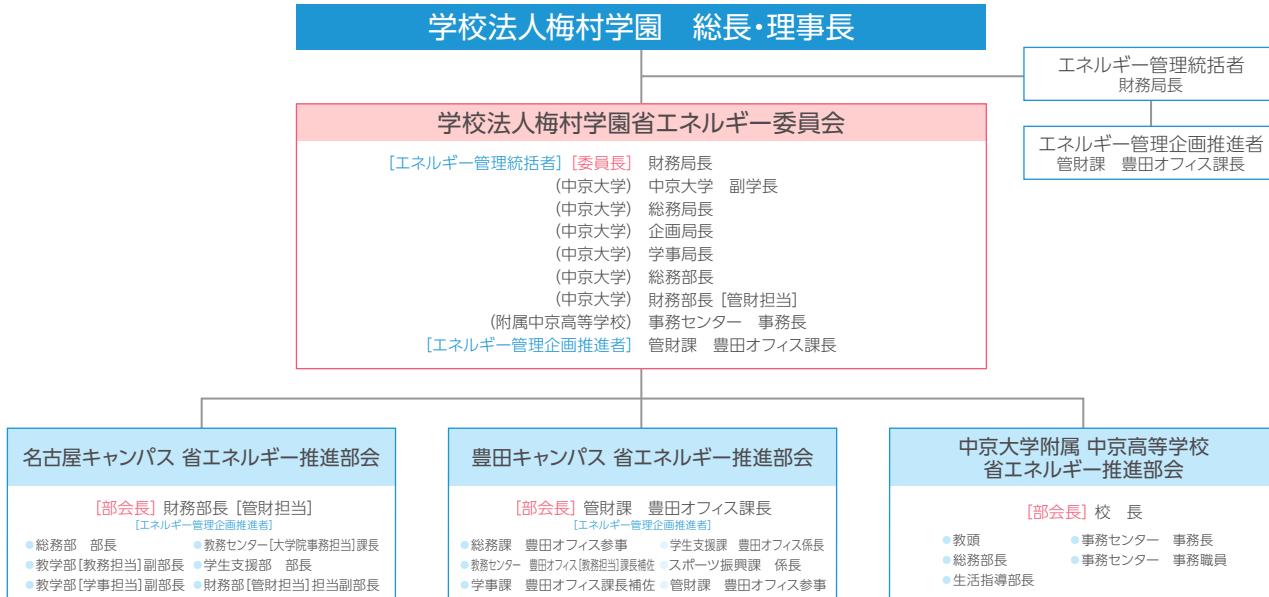
3

自発的な活動の奨励

本学園に生活する者が、それぞれの立場で自発的・積極的に行う環境保全活動を奨励し、継続的、且つ向上的な活動を行えるよう奨励支援する。

省エネ・環境活動における体制と 梅村学園施設概要

学校法人梅村学園省エネルギー委員会組織図



梅村学園施設概要

2024年5月1日現在



中京大学 名古屋キャンパス

【エネルギー管理指定工場】	
校地面積	70,581m ²
校舎面積	101,530m ²
学生数	8,625人
教職員数	437人
CO ₂ 排出量	3,269t
エネルギー使用量	68,147GJ



中京大学 豊田キャンパス

【エネルギー管理指定工場】	
校地面積	402,074m ²
校舎面積	87,183m ²
学生数	4,816人
教職員数	143人
CO ₂ 排出量	3,754t
エネルギー使用量	78,440GJ



中京大学附属 中京高等学校

【エネルギー管理指定工場】	
校地面積	29,603m ²
校舎面積	17,423m ²
学生数	1,454人
教職員数	122人
CO ₂ 排出量	473t
エネルギー使用量	10,000GJ



蓼科セミナーハウス

(研修施設)	
敷地面積	87,047m ²
宿舎面積	3,042m ²
定員	107人
CO ₂ 排出量	172t
エネルギー使用量	2,946GJ

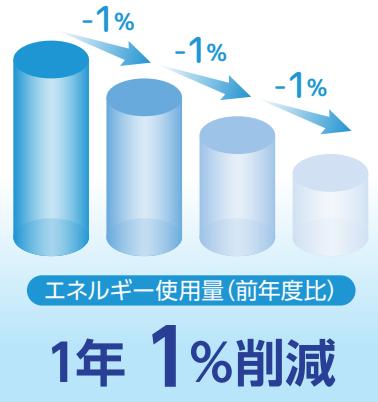


梅村学園の 省エネ・環境活動実績

■ 省エネルギー化の活動目標

エネルギー使用量(前年度比) 1年で1%削減の継続

2011年に、「エネルギー使用量を年1%削減し、5年で6%削減する」という目標を掲げ、学生教職員への啓発活動を開始し、照明、空調機の運用見直しやエネルギー効率の高い設備機器への更新をするなど、ソフト・ハード両面から省エネルギー化の推進を本格化しました。そして、2016年に「省エネ法」遵守を目的として「エネルギー使用量(前年度比) 1年で1%削減の継続」を目標に掲げ、学園全体で省エネルギー対策の取り組みを推進しています。

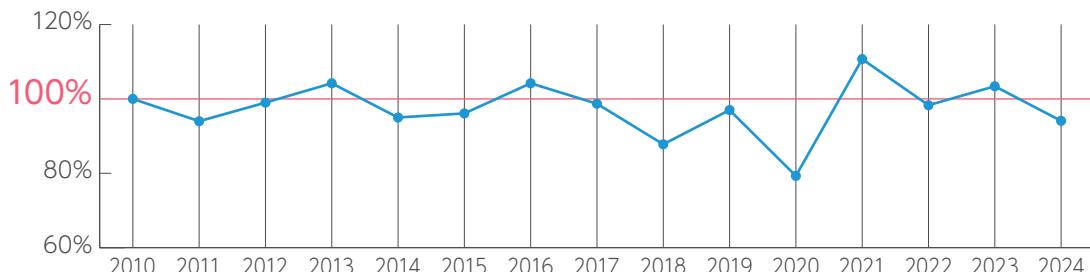


【目標達成】2024年度エネルギー使用量前年比削減割合 5.9%

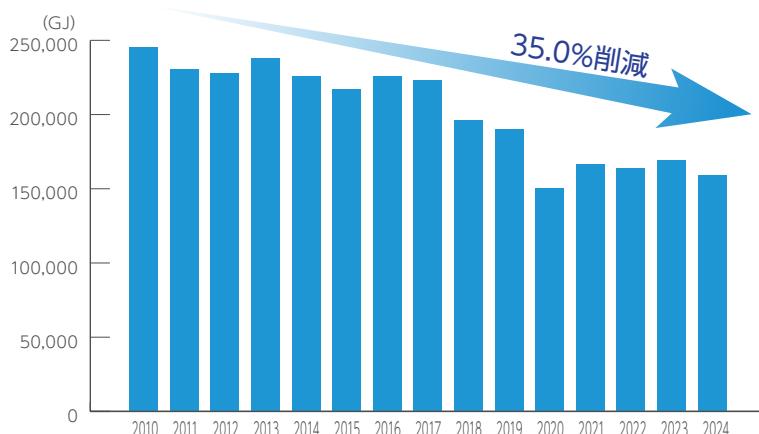
■ エネルギー削減割合と使用量の推移

2024年度のエネルギー使用量前年度比は94.1%でした。基準年とした2010年からの14年間で、前年度よりエネルギー使用量が多くなった年は4度でした。ただし、新型コロナウィルス感染症の影響によりエネルギー使用量が増減した年も含んでいます。そして、14年間の前年度平均比率は97.3%（年平均2.7%削減）となり、年平均削減割合でも学園目標としている年1%以上削減を達成しています。

梅村学園 エネルギー使用量対前年度比の推移



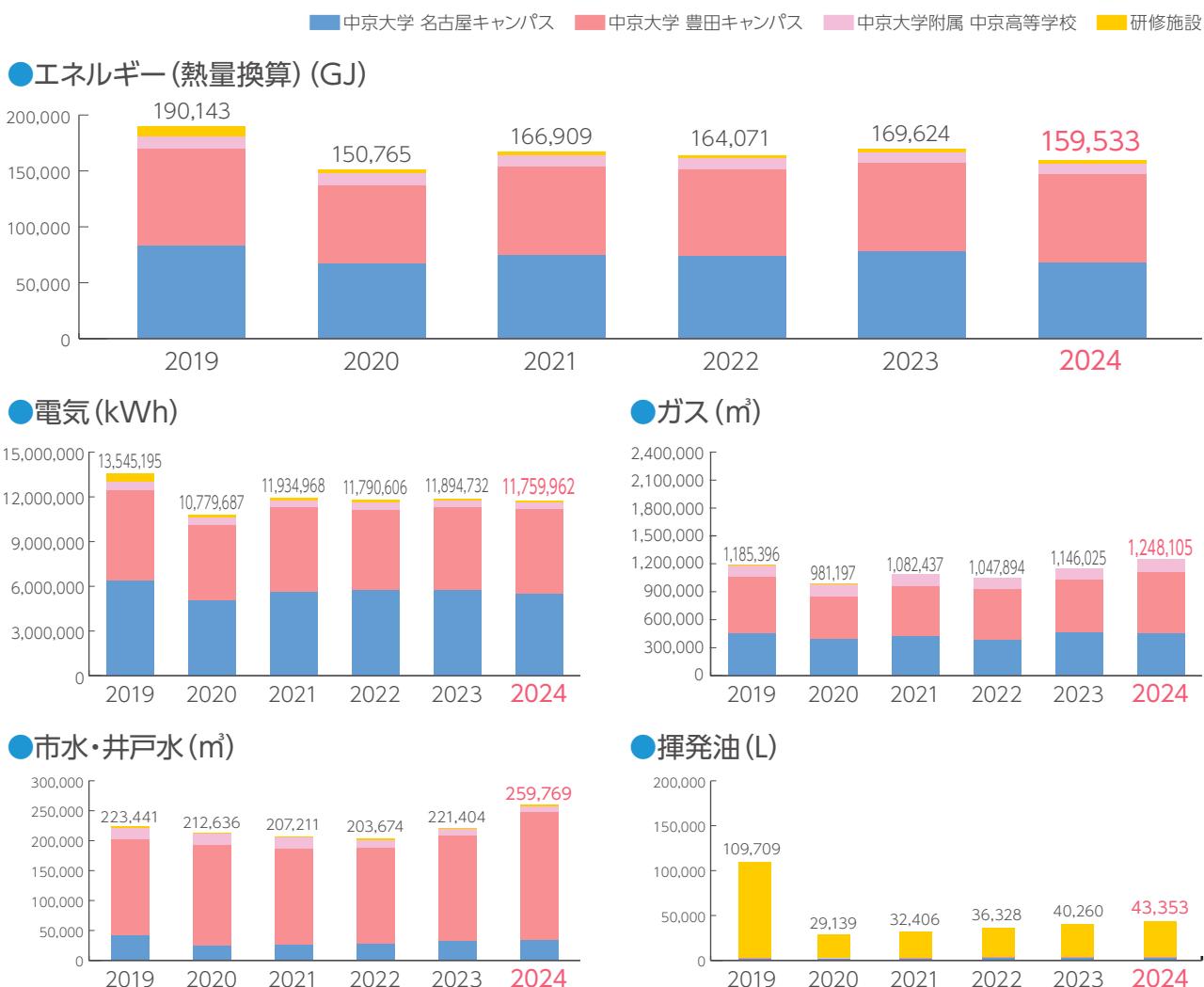
梅村学園 エネルギー使用量(熱量換算)の推移



2024年度のエネルギー使用量は、159,533GJでした。前年度の169,624GJに対して、5.9%の削減がきました。そして、基準年としている2010年より85,681GJの削減となり、14年間で35.0%削減することができます。引き続き、学園全体の省エネルギー化施策に取り組み、サステイナブルキャンパスの推進に取り組んでまいります。

エネルギー
使用量
**35.0%
削減!**

各キャンパスのエネルギー使用量(2019年~2024年)



CO2排出量削減の取り組み

日本政府は、地球温暖化対策計画を2021年に閣議決定により改訂した際、温室効果ガス排出量を2030年までに2013年度比で46%削減することを国際公約として宣言しました。そして、2025年に策定した第7次エネルギー基本計画において、2040年の温室効果ガス削減目標を2013年度比で73%削減することが閣議決定されました。本学でも環境・気候変動問題に関する取り組みとして、省エネルギー化と並行してCO2排出量の削減にも取り組んできました。

2024年度の梅村学園におけるCO2排出量は7,668tでした。2013年度の12,418tから4,750t削減となり、11年間で38.3%の削減がきました。そして、11年間の各年における平均削減割合は3.5%となり、この平均削減割合を維持できると、2013年度比46%削減という目標を2027年に達成できる見込みです。引き続き、省エネルギー化を推進しCO2排出量の削減に取り組んでまいります。

梅村学園 CO2排出量の推移



はじめてみよう・エコアクション 中京大学でのECO ACTION (環境改善のための活動)

学生・ゼミによる環境改善活動

経済学部 中山恵子ゼミ

『グリーン電力証書の購入』

中山ゼミでは、「グリーン電力証書の普及」をテーマとして、公益財団法人トランスコスモス財団の援助を受け、研究活動を行ってきました。2025年1月6日から1月10日までの5日間における中京大学名古屋キャンパスの総電力量に相当する49,000kWh分のグリーン電力証書を購入し、この期間のCO₂排出削減に取り組みました。また、グリーン電力証書に関する理解を深め、在学生及び教職員の意識向上を図るために、構内でチラシの掲示やアンケート調査を実施しました。



法学部 杉島由美子ゼミ

『エシカル消費ってなんだろう？ あなたの行動が未来を変える！』発行

杉島ゼミでは、名古屋市から「大学へのエシカル消費の普及・啓発事業委託」を受け、2018年から「エシカル消費」をゼミの研究テーマとして取り組んできました。エシカルとは倫理的という意味で、「人や社会、環境に配慮した消費行動」のことをエシカル消費といいます。現在の国際社会では、地球温暖化や森林破壊、海洋・大気汚染といった様々な環境問題が取り上げられていますが、これら人類の課題である環境問題の解決に貢献するため、パンフレットを作成して啓発活動に取り組んでいます。



リサイクル啓発デザインの自動販売機を設置(センタービル2階学食前)



杉島ゼミで作成した啓発パンフレット

学生・教職員への「啓発活動」

『学園のエネルギー使用状況』

ホームページへ公開

「梅村学園ホームページ」で学生・教職員・一般の方が学園のエネルギー使用状況を閲覧できるように公開しています。



各施設のエネルギー使用状況

授業時間終了後の学内施設の閉館

学生アンケートで省エネ啓発の実施

学生の皆さんへのお願い

本学は「省エネ法」に基づく「指定工場」に認定され、省エネ活動の推進が義務付けられています。この法律により、年間エネルギー使用量を対前年1%削減する遵守義務が課せられています。また、文部科学省、経済産業省より電力需給ひっ迫に備え省エネルギーの取り組みを要請されており、電力消費量の高い教室の空調設定温度については集中管理をしています。そして、コロナウイルス感染拡大防止策に伴い教室の換気が必須となる実情から、全教室の空調設定温度は文科省推奨温度より幅を持たせて設定しています。本対応は、感染拡大が一定程度収束するまで継続する予定です。

学内環境アンケート回答において、省エネの呼びかけをしています。

学外「省エネ・環境活動」への参加

行政、NPO主催の『省エネキャンペーン』の各種参加や呼びかけ

《省エネキャンペーン》

●クールビズ

「夏の省エネ」励行と学園では、空調温度(冷房) **27°C**に設定

●ウォームビズ

「冬の省エネ」励行と学園では、空調温度(暖房) **20°C**に設定

●クールアース・デー

環境省主催「夏至」「七夕」の節電や照明の消灯活動への参加

●エコ・モビリティライフ

愛知県主催 電車・バス等の公共交通、自転車、歩行などかしこく使い分けて、環境にやさしい交通手段を利用する活動への参加

経済産業省、環境省、文部科学省主催の『環境・省エネ関係研究・研修会』『省エネ普及促進講座』などへの参加

『愛知県私立大学環境問題懇談会』への参加

『省エネ啓発ポスター』の掲示

「室温の適正化／ムダな照明・空調機の消灯活動／節水活動」など継続的に、以下のような掲示物を通じて、さまざまな場面・機会を捉えた啓発活動を行っています。



教室室内空調機設置位置の案内



個々に適した着座席を選択するよう呼びかけをしています。



『環境関連』講演会・シンポジウムの開催・参加



過去の開催テーマ

「生物多様性・気候変動・グリーン経済」

「生物多様性～名古屋市の取り組み」

「愛知の環境のあらまし」「炭と環境講演会」

「環境国際条約と施策の実態：関係した業務からの実例」

「生物多様性・自然環境保全と環境省の（現場での）施策」

「グローバルな問題としての環境：生物の多様性の現場を歩んで」

「3.11後の日本のエネルギー政策の方向性」

「すべての人々が幸せであり続けるために私たちができること～SDGsを通じたこれからの取り組み～」

長期休暇期間中の「省エネの促進」（学内施設の閉館など）

夏季・冬季休暇期間中の集中的な学内施設の閉館、照明・空調機・エレベーター停止による『省エネの促進』

省エネ・環境活動への 「参加」に向けて

「省エネ・環境活動」には、学園で生活する皆さんの『参加』が不可欠です。

はじめてみよう・エコアクション
すべての方に **ECO ACTION** への『参加』をお願いします。

一人ひとりのできることで、実現できます。私たちの『エコキャンパス』

省エネのご協力のお願い

2018年度は50%以上の大学などの教育機関が、省エネ法の事業者クラス分け評価制度(S・A・B・Cの4段階)において、Sクラスとなっています。中京大学もSクラス評価となるよう、務めています。

私たち一人ひとりができる地球温暖化対策として、「ECO ACTION」をみなさんにお願いしています。

- 教室の照明はすべて点灯するのではなく必要な部分のみ点灯しましょう
- 誰もいない教室のエアコン・照明を切りましょう
- 数フロアの移動は階段を使いましょう
- 講義終了後はすみやかに照明を切りましょう

窓や扉は開けたままにしないようにしましょう

使っていない照明・エアコンのスイッチを切りましょう

エアコンは「夏 27°C」「冬 20°C」設定を推奨しています

エネルギー使用量前年比 1年で1%削減の継続

はじめてみよう・エコアクション
ECO ACTION
梅村学園 省エネルギー委員会

省エネ啓発ポスター:構内・各教室に掲示

はじめてみよう・エコアクション

ECO ACTION 活動をホームページで紹介しています。

学園のエネルギー使用状況は梅村学園ホームページで閲覧できるようになっています。

[閲覧の仕方] 梅村学園HOME ▶ 学園概要 ▶ 環境・気候変動問題に関する取り組み ▶ 光熱費等エネルギー使用状況

<https://www.umemura.ac.jp/information/a8.html>

省エネ・環境活動報告 2024年度版

編集:学校法人梅村学園省エネルギー委員会 2025年10月制作

問い合わせ先 学校法人 梅村学園 中京大学 財務部 管財課豊田オフィス



〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101
TEL.0565-46-1234 FAX.0565-46-1291
<https://www.chukyo-u.ac.jp>